

放送大学浜松同窓会



題字は松下安延氏（雅号耕山）

第5号

発行：放送大学浜松同窓会

編集：浜松事務局

発行責任者：仲塚とし子

発行：平成22年11月30日

seeds of heart

同窓会連合会ホームページ <http://rengokai.ouj-dosokai.net>浜松同窓会ホームページ <http://is-lab.inf.shizuoka.ac.jp/~hdosokai>

浜松同窓会に期待します

放送大学静岡学習センター
所長 本多隆成

浜松同窓会が発足したのは、2008年3月のことと聞いています。当初は、ある小グループを中心とした10人に満たない会員数で、必ずしも活発な活動を展開していたという訳ではなかったようです。

ところが、翌年3月に静岡同窓会が発足したことが契機となり、その経験を活かして、あらためて卒業生多数に呼びかけを行うことになりました。さいわいかなりの賛同者をえて、現在、会員数は三十数名に達しているということです。5月1日には、クリエート浜松で浜松同窓会の総会および懇親会が開催されましたが、20名程の出席者があり、いわば再出発することになったのでした。

それ以後、浜松同窓会の運営は次第に軌道に乗り、役員会の定例会は7月に第1回、10月に第2回が行われ、年明けの1月には第3回が予定されています。8月28日には独自企画の講演会・懇親会が行われ、10月16日には静岡同窓会との合同で、懇親ウォーキングも実施されています。

放送大学の認知度の向上や発展にとって、卒業生の皆さんのお力は大きく、本部の方でも同窓会への支援の重要性が位置づけられています。今年度所長裁量経費が増額され、その使い道を問われたとき、私は迷うことなく同窓会支援をその一つにあげました。そしてその具体化として、11月2日には静岡市で、静岡同窓会と浜松同窓会との交流見学会を行うことにしました。これらを通じて、両同窓会のいっそうの発展が図られればと願っています。

ただ、浜松同窓会の場合は、浜松サテライトスペースが狭隘で独自の会場もなく、ご不便をおかけしていて心苦しいことです。何らかの対応をとりたいと考えておりますので、今後とも静岡学習センターへのご理解とご協力をお願いいたします。

学生募集

放送大学では、夢を実現させるべく入学される方々を心から歓迎しています。

放送大学本部 TEL 043-276-5111

募集要項請求フリーダイヤル FAX 043-297-2781

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>



浜松同窓会会長に就任して

浜松同窓会会長 鈴木 眞喜子

定期総会において会長をお引き受けすることになりました。どうぞよろしく願いいたします。
同窓会では、昨年度、静岡学習センターのご支援、御協力により、以前の卒業生に入会案内を送付することができました。そして、多くの方に賛同していただき、今年度には、多くの方々に入会していただきました。総会では、「卒業生が集まる場ができてよかった。」という嬉しいお言葉をいただき、みなさんに入会を呼びかけてよかったと思えました。

浜松同窓会は、設立されてまだ3年と新しい会です。会員のみなさんのご意見を伺いながら少しずついい方向に進めていきたいと思っています。これからもご協力よろしく願いいたします。

会員紹介

本年度は多くの方が浜松同窓会に入会されました

名前	住所	名前	住所
鈴木 眞喜子	磐田市	仲塚 とし子	磐田市
安松 和男	浜松市中区	後藤 淑子	浜松市東区
黒田 浩平	浜松市西区	松下 安延	浜松市北区
大石 純子	浜松市中区	小笠原 敏弘	浜松市中区
小倉 康弘	浜松市中区	岡本 康子	浜松市南区
古橋 達也	浜松市北区	小島 邦弘	浜松市南区
萩原 利行	掛川市		

平成22年度新会員

山本 勝司	島田市	中村 岩子	浜松市西区
鈴木 正男	浜松市北区	鈴木 民江	浜松市浜北区
赤堀 庄司	掛川市	小松 武夫	浜松市浜北区
長嶋 孝行	御前崎市	馬淵 和美	浜松市中区
横田 典子	田原市	豊田 宣子	湖西市
鈴木 尚	豊橋市	藪下 径子	浜松市東区
井口 徳久	浜松市南区	澤木 宏子	浜松市中区
小宮山 ひろみ	磐田市	大島 充裕	浜松市西区
服部 路子	袋井市	松本 健太郎	豊橋市
小田切 さつき	浜松市東区	河合 京子	浜松市中区
柘本 裕士	浜松市天竜区	鈴木 通代	浜松市西区
鈴木 朝子	浜松市中区	尾藤 登	浜松市東区

同窓会に参加して新たな出発

鈴木 民江

私はH6年に放送大学で、選科履修生として「人間関係論」を学んだ。二年間学んだ後、空白の時間が過ぎた。

非常勤講師として、浜松学院大学短期大学部で「老人の心理と介護」を教えていることや、聴くことのボランティア活動に「何らかの知識の充電が欲しい」と感じて、H16年に今度は全科履修生として「発達と教育」を学ぶことに挑戦した。そして、H20年3月に無事卒業に至った。

卒業後大学院に進むことに躊躇し、空白の時間をすごしている時に、浜松同窓会の案内を頂き懐かしい思いで参加した。そこには、私の所属する施設の関連施設から参加している職員や、知り合いもいて、びっくりするやら嬉しいやらで、懇親会にも参加し近況を伝え合った。同窓会に出席された先輩の方々のお話を伺って、「もう一度学習したい」と「学習意欲」が呼び覚まされた。先輩方の話を伺いながら、面接授業で三重県に行った時熊野から見えていた方・岐阜の面接授業に携帯の酸素ボンベを持参されていた方などの学びへの姿がダブった。

私は、病院に勤務している。患者さんが「自分から積極的に療養に参加しよう」とする気持ちを持つには、周辺の関わり(家族・医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師等)がどんな関わりであれば、効果的であるのかを研究したいと思っている。環境調整、関わる職員の姿勢・言葉かけ、回復度合いへの見通し等左右する要因も含め、365日傍で看護する私たちの質的向上を探ることで、QOLを高め、回復力を引き出すことに手助けが出来ればと思っている。何処から学習を深めればよいのか迷っている。しかし、まず一歩踏み出すために、10月から大学院に選科履修生として再び入学させていただいた。

浜松同窓会に参加しなければ、日常の忙しさの中で時が過ぎていったと思う。同窓会に参加する機会を得て、放送大学は日々一人で学ぶが、学ぶ姿勢につながりを感じる事が出来た。同窓会が学ぶチャンスを下さったと感謝でいっぱいである。浜松同窓会のますますの発展を祈念いたします。



同窓会連合会から

同窓会連合会会長 葛貫 壮四朗

2010年5月29日(土)の総会にて会長に就任しました。

役員の皆様並びに会員の皆様のお力を得ながら同窓会活動に邁進したいと存じます。

基本的な運営方針を下記に述べたいと思います。

1. 放送大学との連携及び隣接同窓会との交流・連携

前年度の卒業・修了祝賀パーティは、放送大学と同窓会連合会との初めての共催となりました。

さらに、隣接する同窓会同士あるいは地域ブロック毎の交流会あるいは講演会等の開催を支援します。

2. 情報共有と情報リテラシー向上の推進

各同窓会のIT利用実態調査を実施し、必要性に応じて、メールやWebサイト構築を支援します。

3. 同窓会設立支援

未設立の学習センターに積極的に働きかけ、同窓会設立を支援します。

4. 財政基盤・組織基盤の方向性模索

同窓会連合会独自事業の模索(バッチやネクタイ等の販売など)、同窓会連合会会費の徴収方法の検討、連合会事務局のあり方の検討を行い、財政基盤・組織基盤の方向性を検討します。

上記、事業について、実行委員会を設置し、具体的な方針を取り決め、役員会が承認し推進してまいります。

以上

「同窓会・懇親ウォーキングに参加して」

大石 純子



朝雲多かったがしだいに晴れて、日中は半そででも汗ばむ気温となった。小学2年生を含む15名は金谷駅で記念写真を撮り、出発。石畳は思いのほか急坂で長く、途中茶店に少し寄って登った。両側は草木が繁っていて、見通せない。ひたすら下を見て、歩きにくい石の上を歩く。やっと明るい展望となり、牧の原の見渡す限りの茶畑へ出た。芭蕉の句碑を読んで、茶園の手入れをしている人達が所々に作業をしているのを見ながら歩いた。富士山静岡空港へ、小型の飛行機が降りていくのを2回見た。茶の花が咲いている。茶の木は刈り込まれて、きれいになっているが、所によっては大きく伸びて、ぼうぼうとしているのを、50センチ位刈り込んでいる。風弱く吹いて気持ちがよい。お散歩バスというのに出会った。人はあまり乗っていないようだった。

お茶の里に着き、記念撮影と自己紹介をして、2階食堂で食事。博物館や茶室の見学自由行動。茶室庭園の築地の外の川に、八橋が懸っている。橋には名前がついていて、材質もそれぞれで趣がある。橋を渡り茶室外から見て、お庭の池の淵をめぐる。大きな鯉がたくさん泳いでいる。

陽があたって暑くなったので、売店で抹茶ミックスのアイスクリーム300円を食べるが、分量多く大きい。少し戻ってかなり急な坂道を金谷の町と大井川の対岸島田の町を見おろしながら、かなり歩いて、二軒屋の踏切へ電車上・下通過するのに出会った。見廻したがおおかやはわからなかった。川沿いの公園でしばらく休憩して、旧東海道をただひたすら歩く金谷駅迄とても長い。予定のコースの諏訪原城跡に行かなかった。楽しみにしていたので残念だった。時間としては解散の時間通りであった。

放送大学に学んで思うこと

赤堀 庄司

以前から注目していた放送大学が平成10年1月CS放送を開始して、かねてから入学希望がかなえられる条件は整いました。しかし、高校を卒業し、サラリーマンになって37年働き退職した後も職業訓練校で学び再就職しました。働いている最中の私は、大学の勉強をする能力と時間があるのか、まったく判らない。しかし、希望を諦めることは出来なかった。幸い新しい仕事にも慣れて気分的なゆとりが出てきた62歳の時、この時期を逃しては一生後悔するだろうと思い、思いきって入学願書を提出しました。

平成12年3月、「教養学部選科履修生」への入学許可通知書が届き、早速CSアンテナ・CSチューナー・ビデオデッキ・デジタルカメラを購入して机の横へ設置。やがて6科目の教科書も届き、昼間は仕事、夜は勉強の生活がスタートしました。

入学した目的は、もっと勉強して知的好奇心を満たしたいことだった。思えば、小学3年生の時、「自然科学問答」の本と出会い、その中のひとつに「月はなぜ落ちてこないのですか」という設問と答えがあった。初めて万有引力や遠心力などの事を知り、それから宇宙の不思議に興味を持つ様になった。蛇足ですが、月に関して放送大学で「太陽の科学」を学び、自分の思い違いが判った。人工衛星は飛び続けているうちに、少しずつ地球に向かって落ちてくる。高度10万km位まで落下すると大気との摩擦熱で燃え尽きてしまう。私も月も同じように落ち続けていると思っていたが、事実は逆に遠ざかっていた。月の円軌道の半径は38万kmであり、10万年に3.3kmの割合で増加(月の永年加速)している。単純に5億年後を考えて計算してみると1.65万km月は地球から遠ざかる。その結果、現在知られている皆既日食は見られなくなり、金環日食ばかりになってしまう。同じように地球を回る人工衛星と月では、なぜ反対になるのか。人工衛星は、地球を取り巻く大気の抵抗を受けて減速する。一方月は、潮の満ち引きで地球の海水が盛り上がるときに、わずかに月を進行方向に加速する力が働く。勉強したことで自分の思い込みは間違っていたと判り、驚きと同時に本当のことを知る喜びを感じました。

途中で全科履修生に編入学し、振り返れば楽しくも短い5年が過ぎて、無事に卒業することができました。単位が取得できなかった科目も含めて、57冊の教科書・録画したビデオテープ・テレビ画面を撮った写真(教科書に貼った)・関連する新聞の切り抜き、30回の面接授業に出席した時の資料などが貴重な財産として残った。特に印象に残り、その後も関心を持っている科目は、「国際政治」高橋和夫・「人間の生物学」新井康充・「相対論」藤井保憲などです。今でも教科書はすぐ見られるように本棚に並んでいます。

先頃、「知識と知恵」という新聞のコラムを読んで、痛く感じました。内容は、『知識は大切なものだが、こだわると失敗する。物事を成すには知恵が必要であり、知識に惑わされるとその本質を見失う。』とありました。考えてみれば学ぶということは知識を得ること。その段階で目的を達成したと自己満足していれば、勉強することは私の趣味でしただけで、正しい知識を身に着けたらそれを基に知恵を生み出して磨いて、世のため人のためになることこそが大切ではないかと思いはじめました。先日、リチャード・クー氏の講演に足を運び、経済学の教科書には書いてない考え方で分析した日本のデフレと財政赤字・リーマンショック後の混乱と不況の現状・これにいかに対処するかの話聞いた。これこそ豊かな経験と知識をもとにした知恵だと思い、目から鱗が落ちる思いでした。この様なことにも、気が付くことを教えてくれた放送大学の勉強をして本当に良かったと思いました。これからも学び続ける努力をしたいと思えます。

同窓会交流見学会より 「丸子城跡を見学して」

仲塚 とし子



静岡・浜松同窓会は静岡学習センター本多所長の計らいにより、丸子城跡→久能山東照宮→駿府城跡と徳川家康にゆかりのある史跡を見学し、交流を深めました。丸子城跡は、今川→武田→徳川と時代の流れとともに主も変わっています。

『まりこのとろろ汁』小さい頃より、とろろ汁しか知らなかった私は、ここまで完璧な戦国山城を見て、目から鱗が落ちる思いでした。この遺構の多くは信玄が駿河に侵攻した永禄十一年以降のものらしいのですが、曲輪・土塁・三日月堀・枡形・馬出しなどが、今もそのままに近い状態で残っています。枡形は6m四方の空間ですが、ここに兵士を集め、数を図ったとのことでした。水野氏（写真中央）を聞きながら、時代は龍王丸や北川殿の物語に遡っていくのです。戦国時代への火蓋を切った原点とも言える、今川氏の跡目相続問題がここにあったのです。

“中世城郭を目のあたりにしながら、歴史に思いを巡らせる” こんなぜいたくな旅行をありがとうございました。また次回がとても楽しみにになりました。



2郭と1郭との間の堀切。向こう側が1郭である。登っていった所が2段になっているのが分かるがこれが枡形である。

この空堀には北側に土橋がある。これは横堀から来る敵に備えたものであろう。

「同窓会主催行事に参加して」

尾藤 登



〔I〕同窓会企画講演会 講師は同窓の岡本康子様で8月28日クリエート浜松で行われた。題は「元気ですごすための知って得する栄養学」、日々の生活に直ちに役立つもので科学的理論は勿論のこと、丁寧な説明で具体的な事柄にふれ、非常によかった。

私はこれから次のことに注意してゆこうと思う。①朝一杯のお茶を飲む ②変化のある食べ物をとる ③野菜・果物をよくとること ④歯をよくみがく ⑤食べた後すぐ寝ない ⑥好きなものを食べる ⑦笑顔でいること

笑顔が健康によいことには驚いた。講師の先生は放送大学大学院を卒業後、浜松医大博士課程に在学研究を続けており、更に浜松医療センターで栄養管理室長として活躍、社会的にも広く貢献していることに感銘を受けた。終了後クリエート浜松1階のレストランで懇親会、センター所長の本多隆成先生もご出席くださり、お互い同志の話し合いは親交を深めた。

〔II〕放送大学入学の前については、私は昭和3年田舎の貧乏家に生まれたが、小学校時代旧制中学進学を希望していた。当時進学できたのは1割ぐらいで、よくできた友人も経済的理由で進学しなかった。中学の授業料も楽なものではなかった。昭和16年の入学であったが太平洋戦争のため空襲・軍需工場への勤労働員、夜勤もあり重労働、米軍戦闘機の機銃掃射もうけ、亡くなった友人もいた。官費教育の高等師範に入学・卒業し、県立・私立の高校に56年間勤めることが出来たことは有り難かった。

〔III〕一番勉強できる旧制中学校で「英語は敵国語だから勉強するな」と軍事教管から言われ、また戦時中のこととてすべての教科の学習不足は後々までも影響した。中学に入学し初めて幾何学で「ピタゴラスの定理」を習った。1年生であったが何といふ簡潔な美しい定理であろうかと感じたし、証明法も何通りもあることを知った。これが数学科進学の端緒となった。

〔IV〕数学教師として勤務先での係は進路指導、朝夕の補習授業と全校の努力で当時その高校での国立大学合格者数は233名で県下でも多い方だった。女生徒の中にもお茶の水女子大、奈良女子大(両方とも旧女高師)の数学科合格者が出て嬉しかった。受持った生徒の中から知事・学長・社長も出たり、他の者もそれぞれ各分野で活躍してくれ、その状況を聞くことは楽しみであった。



[V]退職後は俳句・短歌の会に入り趣味として楽しんだり苦しんだり、まずいものですが1句記します。

「一掬の 生きる証しや 初手水」

尾藤 登

元旦の句で顔を洗い生きていることに感謝し健康でありたいとの願いである。俳句を始めるようになり自然をよく眺めるようになった。山並み・空・森・花・草まで親しく感ずるようになった。旅をすれば俳句の目で眺め、人生が広がったようにも思っている。

身辺雑記

小島 邦弘

本年春から、浜松城北図書館で開催されている、語り部の会の視覚障害者の音読ボランティア養成講座に通っています。第1回にはNHKの取材があり、静岡放送局の「マドンナ・光部アナウンサー」から励ましを受けて感激しました。

勉強の進行具合ですが、講師の先生は皆さんNHKのアナウンサーをしのぐ技量で、全くの素人の私とはレベルが違い後を追うのは大変です。先日雑談の折、「小島さんのレベルは文学作品を語るレベルにはまだ距離がある感じですが、新聞読み上げ程度には役立つかもしれません」と言われました。半年間の成果としては、物足りないというか、少しは進歩したと言っていただけなのかという、両方の解釈ができますが、自分を甘やかして後者と勝手に解釈しています。どんな集団にも上位集団と下位集団があり、最下位がなければトップも存在しないわけですから、語り部の会の巧者を光らせる、味噌っかす集団として細く、長くこれからもあきらめずに、続けたいと思っています。放送大学の仲間にも、音訳・点訳・手話等のボランティアが増え、一般の大学に通学困難な勉強熱心な方に、小さいながらも一隅に光を掲げてあげられたらと思っております。

第2回卒論の会を開催します

放送大学で学んだこと、さらに自分で研究している内容を、みんなで話しをしてみませんか。研究発表会を22年12月25日(土)13:00~15:00 静岡学習センター会議室にて開催します。その後15:15~17:15 三島駅前 魚がし鮨にて懇親会を開催します。ぜひご参加ください。

連絡先 放送大学浜松同窓会

小島 邦弘 TEL・FAX 053-426-2049 kojima-y@ck.tnc.ne.jp

放送大学静岡同窓会

坂倉 幾夫 TEL 080-3620-6483 ka91bn68@spring.tnc.ne.jp

新会員募集



編集後記

会報発行にあたり、原稿をお寄せくださった皆様ありがとうございました。旅行や講演会に添えた写真がまたカラフルで誌面を賑わせています。来年も同窓会の行事にご参加下さり、感想などをお寄せください。心からお待ちしています。

(事務局長 仲塚 とし子)